

# 日本政策総研 みやわき経済3分レポート(No.39)(2024.12.09)

《半導体市場、金・為替相場》

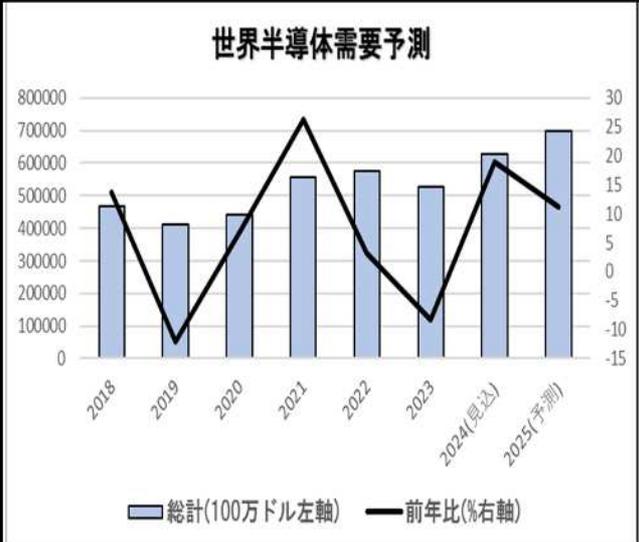
日本政策総研代表取締役社長  
宮脇 淳

ご質問・さらに知りたい方は、  
QRコードからご連絡ください



## 2025年半導体需要予測

WSTS(世界半導体市場統計)の2024年秋季版が12/3に公表された。2025年は、AI及びデータセンター関連での需要拡大を予測、2024年見込よりは拡大速度は減速するも前年比11.2%増となっている。日本市場は同8%台の増加、7.7兆円の市場規模を見込んでおり、対ドルレートは149円台の前提である。なお、地政学的リスクのほか、米国の保守主義の強まり、EV需要の減少等不確実な環境があることには留意が必要。



## 金価格の動向

2010年前後よりそれまで下落傾向にあった金価格が上昇局面に入っている。右図は2019年以降の動向(IMF)を示している。この背景には、地政学的リスクの高まり、新興国中心にドル依存ではない準備通貨の多様化が意図された結果である。トルコ、ポーランド、中国等いずれも金による外貨準備比率を拡大させている。とくに、トランプ政権誕生が確実となり不意打ち的リスクを回避する意味からも金準備を高めている傾向にある。



## ユーロ通貨の行方

右図は2024年後半のユーロ対ドルレートである。トランプ政権誕生の可能性が高まった10月あたりから急速にユーロ安となっている。これは、ドイツをはじめとした欧州経済の低迷、フランス等の政治的な混迷、そして地政学的リスクの高まりによりトランプ・トレード(米国株式高・ユーロ安の流れ)が加速したことによる。今後、トランプ政権の政策が明確になるにつれ、こうした投資の方向性がどうなるか金融市場の大きなポイントとなる。



内容に関するお問い合わせ : (株)日本政策総研 業務企画部

TEL: 03-3830-0611/ FAX: 03-3830-0612

e-mail: miyawaki@j-pri.co.jp

ご質問QRコードが読み取れない場合は右記URLからご登録ください⇒ URL:<https://forms.gle/H7jdEfktQ4S87nNC6>